

たいし

第143号

議会だより

発行／太子町議会 編集／議会広報委員会

平成25年6月定例会で決まったこと

p 1～p 2

8議員が町政を問う (一般質問)

p 3～p 7

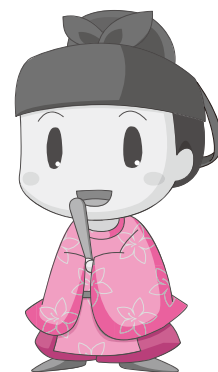
議会のうごき

p 7～p 8

6月定例会まじごんなごを決めました

第2回定例会は、6月4日に招集され、6月19日までの16日間にわたって開かれました。今定例会では、平成25年度の一般会計補正予算をはじめ、条例制定、条例改正などがありました。

また、一般質問には、8人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。



平成25年第2回定例会議決結果一覧表

件名	結果
25年度一般会計補正予算(第1号)	可決
25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
25年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
暴力団排除条例制定の件	可決
子ども・子育て会議条例制定の件	可決
町立グラウンドゴルフ等多目的交流広場設置条例制定の件	可決
税条例中改正の件	可決
町立中学校給食配膳室他増築工事請負契約締結の件	可決
山田小学校屋内運動場等改築工事請負契約締結の件	可決
町立学校給食センター改修及び増築工事請負契約締結の件	可決
中学校給食用厨房機器等備品購入契約締結の件	可決
24年度一般会計補正予算(第6号)の専決処分の件	承認
24年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書報告の件	承認
税条例中改正の専決処分の件	承認

平成25年度
補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	9945万9千円	50億7030万7千円
国民健康保険	231万円	16億7588万4千円
下水道事業	▲165万8千円	3億2310万6千円

● 一般会計

【主な事業】

- ・竹内街道1400年事業
…135万3千円
- ・町道維持管理事業
…700万円

- ・大道旧山本家住宅
活性化事業
…346万8千円

質疑

問 町道春日東谷線の工事の内容は。

答 現在幅員2・5mの狭小道路を緊急用車両が通行できるように拡幅し、幅員4mの延長50m部分の工事。

問 山本家住宅の整備の内容は。

答 訪問者の休憩スペースと駐車場2台分の整備。



山本家隣接地に休憩スペースを

条例制定・改正

● 暴力団排除条例制定

【制定の趣旨】

太子町における暴力団の排除に関し、基本理念を定め、本町、町民及び事業者の責務を明らかにするとともに、社会全体で暴力団の排除を推進し、もって町民生活の安全を確保するとともに、社会経済活動の健全な発展に寄与するため。

【条例の基本理念】

- ・暴力団を恐れない
- ・暴力団に対して資金を提供しない
- ・暴力団を利用しない
- ・暴力団事務所が存在を許さない

質疑

問 暴力団対策法や府の条例もあり、町で条例を制定する意義は。

答 暴対法や府条例と合わせて、行政、住民及び事業者が暴力団を利することにならないよう警察等の関係機関と協力していく。

● 子ども・子育て会議条例制定

【内容】平成26年度の子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、子育て当事者等のニーズに即したものとするため、子育て当事者等をメンバーとする合議制機関として太子町子ども・子育て会議を設置するもの。報酬額は、日額7千円と定める。

質疑

問 会議の委員15名は。

答 学識経験者1名、保護者2名、医療等の関係機関から8名、その他子ども関係事業者で構成する。

問 任期の2年間はどう進めていくのか。

答 平成25年度は住民にアンケートを実施し、その内容や結果により、来年度から子育て計画の策定を進めていく。

● 町立グラウンドゴルフ等多目的交流広場設置条例制定



9月20日オープンに向けて工事進行中

65歳以上の住民は無料とし、世代間交流をはかるため、中学生以下も無料としている。

● 税条例中改正

【内容】

1. 町税に係る申請や賦課に対する拒否処分、不利益処分について理由付記を実施
2. 固定資産税に係る一部納税者への特例の見直し
3. 地域決定型地方税制特例措置（わがまち特例）の一部追加

質疑

問 住民に利益、不利益はあるのか。

答 租税特別措置法の適用の4年間の延長や、「ふるさと寄附金」に対する寄付金税額控除の制度の見直しで住民に対して不利益はない。

質疑

問 使用料設定の考え方は。

答 高齢者の介護予防が第一の目的であり、

6月定例会の一般質問

町政を問う

8人の議員が登壇

この記事については、質問者においてまとめたものです。

1400年、今後の取組み状況について…………… P3
 太子町役場でのパスポート申請交付…………… P4
 コンビニでの証明書等の交付…………… P4
 「太子町観光・まちづくり協会」との連携について… P4
 国道166号線（竹内街道）歩道について…………… P5
 夜間の防犯対策と防犯灯・道路照明灯設置について… P5

小中学校の普通教室へのエアコン設置について… P6
 住宅改修に補助を…………… P6
 誰もが自由に外出できるために…………… P6
 全ての子どもに教育・保育の保障を…………… P7
 社会保障の充実で住民の生存権保障を…………… P7
 オスプレイの訓練受け入れに反対を…………… P7

1400年、今後の取組み状況について

寺町 幸雄 議員

問 現在、各イベントをこなしながら、進行中だが、残りの行事の準備は？又、住民の皆様方にも御参加願う行事等は？

日本最古の官道を有する歴史の町、太子町、竹内街道敷設1400年多くの人々に知って頂く事ができた。これらを生かし、次年度以降の取り組みの計画は？

ひとつの案として、ネーミングライツ（命名権）等の販売を提案する。多くの皆様方にご賛同が得られるならば、各街道の名称を太子町にふさわしい、観光地風にする様な取り組み等は？

『ホームページの活用について』尋ねる。

最近、画面も新しくなり、少しずつ内容の充実も図られているが、活用に、現在取り組み中の各事業に対する案内、特にハードプランで有る「中学校の給食

に関する、中学校と給食センターの工事関連」「グラウンドゴルフ等、多目的交流広場の整備関連」「観光と活動拠点、ふれあいサロン等、自休村管理センターへの改修関連」「山田小学校の体育館建設関連」。年度内完成予定の進捗状況をホームページにて発信を。

『町長直通便Q&A返答、更新状況』は、どうなっているのか？

答 今後予定のイベントは小中学校児童対象の絵画コンクール、竹内街道灯路祭りに合わせ、近鉄駅長お薦めハイキングとタイアップ「街道ウォーキング」太子町では初めての聖徳太子、推古天皇等の衣装を製作、住民参加型の時代行列を計画。今後、大阪府、奈良県10市町村で「1400年プロジェクト」とタイアップ。継続する事

で地域活性化に生かす。ネーミングライツや通りの名称については先例市を参考に調査研究し考える。ホームページは行政の情報発信として幅広く活用、アクセス数、5年前の約2倍で、情報発信力を活用し事業計画、進捗状況は掲載するよう努力する。直通便は平成24年度までに約100件、ホームページで10件、交通安全対策、大型スーパー誘致等多岐にわたる。

要望 太子町の活性化の為、これからも継続的に取り組んで頂く各協議会、ボランティアの活動資金として、使用目的をもつ、ネーミングライツの販売に関し今後の課題として、前向きに検討を。



太子町役場での パスポート申請交付

松永 満 議員

問 地方自治法の改正により、パスポート業務が市町村でも実施できることとなった。富田林市も権限移譲を受け、パスポート業務を実施している。大阪パスポートセンター阿倍野分室のあり方についても議論されている。仮に閉室されるとなれば、太子町住民の皆さんは大阪府庁まで行かなければならぬことになる。太子町においてもパスポート業務の権限移譲を受けて実施できないのか。

答 都道府県からの権限移譲による市町村窓口における旅券発給事務、パスポート交付事務については、大阪府では現在12の市で実施されている。南河内地域では、富田林市が実施している。太子町における平成23年度の旅券発給実績は505件

となっており、今後においても相当数の申請交付業務が発生することが予測される。本町での旅券発給事務の実施については、手続に係る職員の配置や業務スペースの確保、財源負担も考慮すると共に、大阪府証紙の売りさばき人の指定を受け等の手続が必要となってくる。近隣市でもパスポート申請の交付事務の移譲が進められている現状も踏まえ、住民サービスの利便性向上を図る為、課題の整理等内部調整を進め、パスポート申請交付事務の実施を検討したいと考える。

Qランジュニアの証明書等の交付

問 コンビニ交付サービスとは、住民基本台帳カード、住基カードを利用し住民票の写し及び印鑑登録証明書、

戸籍、各種税の証明書をコンビニの店舗で取得するサービス。総務省においても住基カードを利用したコンビニ交付サービスの推進を進めている。夜間や休日でもコンビニ交付サービスについて簡単な端末で容易に証明書等の取得が可能となる。そこで、コンビニ交付サービスの制度導入ができないのか。

答 マイナンバー法により住民基本台帳カードが今後廃止され、新たに個人番号カードへの移行が予定されている。今後、国の動向を注視し交付サービスの向上に向けた調査研究を行いたい。



「太子町観光・まちづくり協会」との連携について

山田 強 議員

問 最古の官道、竹内街道が敷設され、本年度1400年を迎え、この記念すべき節目に我が町の「観光・まちづくり協会」が設立され、既に半年余りが経過、この間、行政としてどの様に協会と関わり、進めてこられたか、協会設立後の現状と、目標を同じくする「観光・まちづくり協会」と行政が共に助け合い、協働作業が出来るような環境づくりについてどう考えているのか。

答 昨年の12月に設立され、会長以下、構成団体の代表者を中心に15人の方が役員として協会の運営に当たっており、会員数は個人・団体を含め60人を超え、協会職員を3名雇用し、体制も整えられている。協会の活動内容は、広報ルートとしてホームページの作成や、町

が協会に委託したマスコットキャラクター「たいしくん」の活用等、民間の機動力と発想のもと、新たなPR先を開拓。そのほか、まちおこし団体の事務局機能もあり、団体活動の根拠を支えている。協会が、これまで以上に地域との協働体制を堅持し、町の魅力を高めた住民主体のまちづくりを進め、協会が地域の顔となり、積極的な活動を進める中で、様々な形の支援を検討していきたい。

又協会と行政が持つ資源を活用し、協働による取組みを推進する為、連携内容を明確にした協定「包括協定」を締結することを視野に入れ、観光産業の振興と発展、住民主体のまちづくりに繋がる活動等、双方の発展と充実に寄与することを目的としたものを考えている。

この協定を契機に、地域活性化への両者の取組みがより柔軟に、機動力のあるものとして進めることが出来ればと考えている。

要望 我々の最終目標は、地域を活性化し、戦略的まちおこしをするところにある。その土台を盤石なものにする為にも、今後、協会としっかり協議され、観光産業の振興と発展、そして住民全体のまちづくりに繋がるような協定を早急に結ばれるよう要望する。



地域活性化の拠点
工事中の自休村センター

国道166号線(竹内街道)歩道について

中村 直幸 議員

問 風鼻橋から葛城市までの車の台数と歩行者の量は。この間の歩道設置の経過と、設置が進まない理由は。このまま歩道がない状態で、竹内街道1400年事業にどう取り組んでいくのか。

答 国道166号線の山田区間の交通量は、平成22年度の交通センサスでは、一日6千450台。同区間を歩いて利用する人数のデータはないが、平日の歩行者は数えるほどと思われる。一方で、『近鉄駅長おすすめフリーハイキング』等の参加者2000人程度、『岳のぼり』や『初のぼり』の参加者は、500(600)人程。休日のイベント開催時には、200人を超える歩行者が見込まれる。

この区間の歩道整備の経過と状況は、平成7年度に太子町春日から葛城市の長尾までの区間7・4kmが、歴史国道として認定され、事業がスタートした。この事業で町道部分は、カラー舗装及び交差点の石畳等の整備を行なった。国道166号線の風鼻橋から、480mの区間は、大阪府が歩道整備を行なったが、平成21年度以降事業凍結となっている。歩道設置が行なわれなかった区間は、府が暫定整備としてガードレールの設置や道路側溝の蓋かけで、歩行空間の整備を行なっている。現在まで、二上山万葉の森まで650mが整備済み。



早急に歩道を!

万葉の森から府県境までの残り610mについても国道166号線全体の歩行空間の整備として、順次実施すると聞いている。町としても未整備区間の歩行空間の早期整備と歩道設置事業の復活を大阪府に要望していく。

大阪府に要望していく。竹内街道1400年事業の取り組みは、地域の活性化と観光振興を進める上で今後とも継続することが重要と考えており、街道全体が安全で誰もが親しめるよう環境整備について、引き続き関係機関と連携して取り組んでいく。

要望 車と車の間を、出たり入ったりと、危険との背中合わせの道を250人という大勢のウォーキングの付き添いをされた方が大変な苦労をしたと聞いている。早期の歩道実現を強く要望する。

夜間の防犯対策と防犯灯・道路照明灯設置について

村井 浩一 議員

問 大阪府安全なまちづくり条例の中で歩道の照度を高める道路照明灯の設置が取り組まれている。大阪府の安全防犯指針には「防犯灯・道路照明灯などを適切に設置することにより、夜間において、人の行動を視認できる程度以上の照度を確保する。」とあり、女性・子どもに対する声かけ事案など地域住民が不安を感じる事案の発生状況や地域住民の要望を勘案し、特に防犯対策を講ずる必要性の高い道路などから順次、設置がはかられるようにするとある。

軽減して、防犯灯の増設などの防犯対策をとるべきではないか?

答 道路照明灯の増設については、町管理の箇所については状況を調査し、検討をすると共に、国・府管理の箇所については、それぞれに要望を行う。次に、防犯灯は犯罪を防止する為の歩行者用照明として、町からは、その設置及び修理に対する費用の一部の補助と電気料金の全額負担を行っている。

この補助金の内容を定めた太子町防犯灯設置費等補助金交付要綱については、平成24年8月に町会・自治会の負担が増額にならないよう配慮し、補助額の見直しについても改正を行ったところである。地元町会・自治会にもご理解頂き、本制度については、継続して実施していきたい。



防犯灯の増設を

町民の多くが通勤・通学で利用する国道166号線・府道美原線・太子中央線等の主要幹線道路の道路照明灯、及び防犯灯設置を従来の沿線自治会だけに負担していただけではなく、何らかの特例を設定し、自治会負担を

小中学校の普通教室への エアコン設置について

森田 忠彦 議員

問 近年の夏の暑さは、昔とは比べものにならない。

学校施設は、特別教室や保健室、職員室にはエアコンが設置されているが、児童生徒が日常生活の大半を過ごす普通教室には扇風機が設置されているだけで、エアコンはない。

日中の教室の温度は相当高くなっており、児童生徒が暑くて授業に集中出来ないのが現状である。

府内市町村の公立小中学校の普通教室へのエアコン設置状況は？ エアコン整備に対する国からの補助はあるのか？その内容は？

答 府内市町村の小中学校の普通教室のエアコン設置状況は、昨年10月現在、大阪市、堺市を除く府内41市町村の全小中学校894校のうち、高槻市や茨木市等北摂地域、11の自

治体の434校で整備済み。町村では田尻町のみ。小中学校共にエアコンが整備されていないのは南河内を中心とした8市と、本町を含む6町の190校で、残りの15の自治体では小中学校の何れかでエアコンが整備されている。学校別の整備率は小学校の41・6%に対して中学校では64・1%となっており、中学校でのエアコン整備が進んでいる。

エアコン整備への補助制度は、文科省が小中学校等への空調設置工事について、学校施設環境改善交付金の対象事業としており、事業規模の下限が400万円、上限が2億円、補助率は3分の1。

問 本町では、よその市や町に比べ1中学校、2小学校という極めてコンパクトな町であり、国からも3分の

1の補助があるので、財政的に苦しい本町にとっても整備はしやすいのではないかと。普通教室のエアコン設置について町としてどのように考えているか。

答 山田小学校体育館の工事が完了することから、学校施設の耐震化率100%が達成される。今後は天井材等の非構造部材の耐震化対策についても検討を行っていく。学校の普通教室へのエアコン設置についても、事業費の確保やランニングコストの問題等、課題はあるが、教育環境の更なる充実という観点から整備について検討を行う。

要望 教育環境の更なる充実のために、各学校の普通教室に一日でも早くエアコンが設置されることを要望する。

住宅改修に補助を

阪口 寛 議員

問 住みよいまちづくりに安全・安心・快適な住宅は欠かせない。国や大阪府は2015年までに耐震化率を90%に引き上げるとしている。本町の住宅の現状と、住宅耐震化施策、省エネ太陽光発電への助成など実績を問う。また、空き家対策はあるのか。個人が住宅のリフォーム、修繕や改善を行う際、地元の建設業者に発注する条件で、地方自治体から費用の一定の補助を行う住宅リフォーム助成制度がある。全国330の自治体で実施され、大阪府下でも昨年藤井寺市で創設された。その効果を調査し、本町でもこの制度を導入すべきではないか。

震災診断は3件、耐震改修補助は1件の実績、高齢者、障害者等のバリアフリー助成は79件と年々増加している。住宅リフォーム助成制度は厳しい財政状況から今のところ創設は考えていない。

要望 住宅リフォーム助成は財政難といっても、数百万円の予算があればできる。また空き家対策は、倒壊防止策と同時に空き家の有効活用は人を呼び込み、人口減少の防止に役立つ。住宅施策の充実は防災対策にもなり、地域経済活性化の効果が大きい。町として積極的な対応を求める。

Q 誰もが自由に外出できるように

答 本町の住宅の耐震化率は50%。空き家は約400戸と想定している。平成24年度の耐

外出支援事業の検討のため、ワーキングチーム発足させた。住民は一日も早い実現を望んでいる。核になる職員の配置、住民の声をどう集めるのか、進捗状況と今後の明確なタイムスケジュールを問う。当面、高齢者や身体障害者の病院、施設等への福祉タクシーの運賃助成はできないか。

答 それぞれの部署の特性を生かしワーキングチームで、河南町のさくらバス、河内長野市、千早赤阪村の買物支援の取り組みなどを調査している。住民の声は、窓口にとられた際、要望等聞かせてもらっている。議論を重ねて調査研究し、中間報告をしたい。

問 高齢化が進み、交通弱者が増え、買い物、通院等で困難者が増えている。町長は昨年、

福祉タクシー補助は、中河内、南河内では重度障害者が対象となっており本町では使用実績がない。

全ての子どもに教育・保育の保障を

西田くぐ子 議員

問 子ども・子育て支援法等は、保育を必要とする全ての子どもに保育に責任を負うのではなく介護保険のような仕組みや株式会社参入の為に規制緩和がある。施設整備の補助金が廃止され、市町村が保育実施義務を果たせない。太子町の子育て支援、保育はどう変わるのか。町の責任を堅持を。

答 新制度の具体的な内容が示されておらず国や府からの情報に注意し、町の実情に応じた子育て支援を検討したい。

要望 市町村の保育実施義務を基本に据え、保育を必要とする全ての子どもに町が責任を持ち、2つの保育園、町立幼稚園と私立幼稚園がこれまで通り運営ができるよう要望する。

Q 社会保障の充実で住民の生存権保障を

問 厚労省発表の生活保護の実態は、平成24年1月時点で全国151万7千1世帯で、大阪は21万7567世帯、全国平均が1・64%なのに府の保護率3・39%は全国トップ。富田林子ども家庭センターの体制は。町の生活保護受給者数は。生活保護は、憲法25条で保障されている権利だと考えるか。生活保護の情報提供を。

答 2名で約100世帯、200名受け持つ。約10年間で2倍に。生活保護法立法趣旨は、憲法25条に規定する理念に基づくものと理解。保護が必要となった場合、適正な支援や保護が行われるよう、府、富田林子ども家庭センターと連携していく。

Q オスプレイの訓練受け入れに反対を

問 太子町の上空で低空飛行訓練をするようになってもいいのか。危険なオスプレイの訓練受け入れ反対の声を。

答 府町村長会として申し入れを行った。本町の上空を飛ぶ姿を想像した時、私としては、正直違和感を覚える。国が十分な説明を行うと共に、関係自治体の意見を十分に尊重することが必要であると考える。

要望 1日に5人近くが餓死する日本社会は、生存権が守られている社会とは言えない。憲法25条に基づく制度の充実、発展という原点到に立ち返るべき。

議会のうごき

研修報告

町村議会議員セミナー

8月2日、おおさか市町村職員研修研究センターにおきまして、町村議会議員セミナーが開催され、本町議員も参加しました。

今回の講師は、同志社大学大学院 総合政



議長会会長あいさつ



新川達郎教授による講演

策科学研究科教授、新川達郎氏で、『地方自治制度の現状と課題』議員に期待される役割とは』というテーマで講演が行われました。

これからの議会と議員に求められることとして「議会改革の進展と議員の能力向上」「地方自治法における議会制度の改正と議会の役割」「地方分権と地方制度改革下の議会と議員の役割」があり、そのためには、この間の行革で、議員定数の削減が進められてくるなかで、弱められてきた行政のチェック役としての議会を今一度取り戻し、活性化することが求められているとの

ことです。

議会改革の方向と期待として「議会の責任を重く見る改革」「執行機関と適切に役割分担できる議会」「議会の独立性、議員の能力が求められる改革」「住民の信託にこたえることができる議会」「不十分なながらも強化されてきた議会権限に因應する議会・議員へ、各議会でする自己改革」「議会改革と基本条例制定」など示唆に富んだ課題が挙げられました。どの課題も住民のみならずの願いに込める為、太子町議会の在り方を考えるうえで、大変参考になりました。

今年は、竹内街道敷設「1400年」

我が町 太子を全国に発信しよう!



科長神社夏祭り (7月27日、28日)



西のだんじりは、1832年に彫師・相ノ伊兵衛、大工・大阪喜平治によって製作されただんじりです。ハブ、車板、虹梁、獅がみ、懸魚など、彫り物は、製作当時のままで残っています。八社宮という名を唯一いただいただんじりです。



永田のだんじりは、明治28年に製作され、大工は絹井嘉七、彫師は玉井行陽です。岸和田型の改造で、小屋根の下の見送りに、大坂冬の陣が彫られています。



東條のだんじりは、江戸時代末期に製作されたと言われており、大阪府内でももっとも古い舟形の地車と考えられます。曳行している2台の船だんじりのうちのひとつです。



大道のだんじりは、1807年に伊達家によって寄付されました。製作者は、小松源蔵と宮屋文蔵で、小松源蔵は、大阪府や兵庫県にその名を残し、江戸時代末期を代表する彫り物師です。製作されてから二百年を超え、現在、製作年代が明確なだんじりの中で最も古いものとされています。



後屋のだんじりは、江戸時代末に製作されたと言われており、日本でも珍しい価値のある船だんじりです。

科長神社の夏祭りをご覧になりましたか？
江戸時代は、6月8日(旧暦)だったのが、明治末に7月27日(新暦)に変更され、昭和後期に現在の7月第4日曜日に。南河内唯一の夏祭り、山田の5町会の「だんじり(地車)」です。
海から遠く離れた山田の地に船形地車があるのも、今なお曳航されているのも大変珍しく太子町の歴史の重みを感じられます。五穀豊穡祈願とともに、台風シーズンの風害除去などが目的と考えられていますが、私たちも熱気溢れる夏祭りを見て元気が漲りました。



次の定例会は、
9月に開催されます。
ぜひ、傍聴にお越しください。

議員の香典・弔電を自粛、廃止しています
太子町議会では、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、町民の皆様への弔事に際しまして議員個人の香典等の自粛、挨拶状の廃止を申し合わせています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。